

▶▶岡山県和気町

公営塾の開設で「教育の町」
和気町を復活させたい

和気町では、教育の町「和気」を目指し、公営塾の設置、放課後学習支援の充実などに取り組んでいます。中でも公営塾は、英語に長けた人材を育てようと、平成 28 年に本格的な運営を開始しました。

運営費用をクラウドファンディング型のふるさと納税で募集することにより、当初は土曜日、中学生のみでしたが、その後、毎週水曜日も開催し、対象も小学校 5～6 年生まで拡大しました。また、月 1 回幼稚園年少から小学校 4 年生を対象とした

「公営塾 KIDS」も開催し、学年・学校の枠を超え、それぞれ教え合ったり、競い合う姿が見られます。

ふるさと納税の実績については市のウェブサイトで報告し、寄附者に対しては、お礼状とともに公営塾の活動状況をお知らせする予定です。



日本最古の庶民の学校「閑谷学校」



公営塾の授業風景

注力した点や
工夫した点

ふるさと納税の募集にあたっては、日本最古の庶民の学校「閑谷学校（しずたにがっこう）」ゆかりの地であることや、町の英語教育における具体的な目標を分かりやすく寄附者に示しました。

Check

取組の効果

ふるさと納税によって、多数の教材を購入することができました。平日開講の実施や対象生徒の拡大により、参加者が増え、報道等で大きく取り上げられました。

ふるさと納税による支援を励みにすることで、子どもたちの学習意欲が向上したほか、購入した教材等による学習環境の整備の結果、公営塾の生徒の約 2 割が英検 3 級、準 2 級に合格



放課後学習支援



公営塾の学習風景

しました。また、和気町が「教育の町」として知られてきたこともあり、平成 28 年度の移住者が前年度の約 3 倍となるなど町の活性化にもつながっています。

寄附者の声



・子どもの教育は、長い目で見ると将来地域の発展に必ず繋がります。応援しています。

住民の声



・子どもたちが皆様の思いを受け、健やかに、大きく育つ事を期待します。